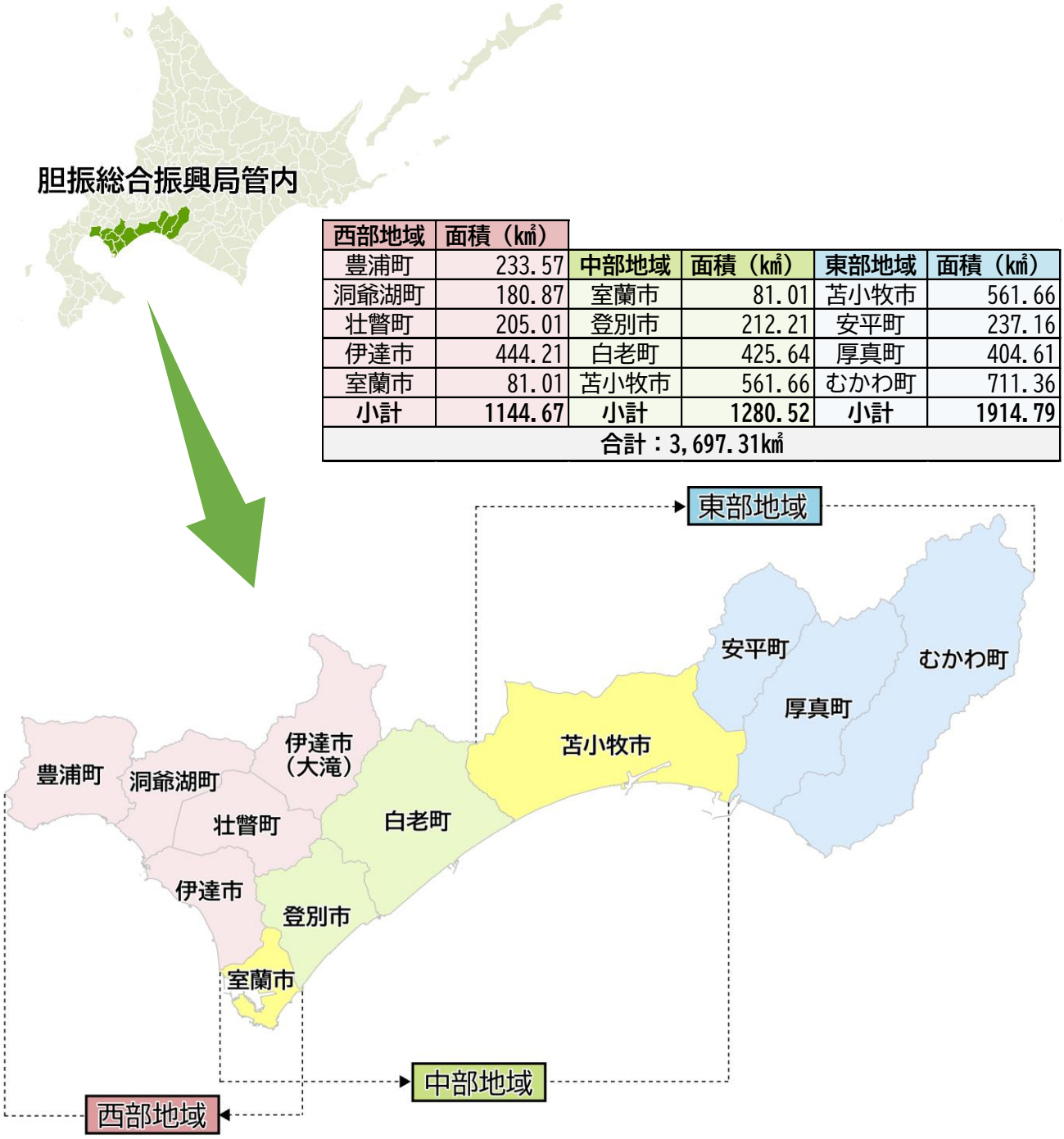
第３章　地域の概況

|３-１|　地勢・地理

（１）北海道胆振地域の位置・面積

本地域は、北海道の中南部に位置し、総面積は約 3,697 ㎢と奈良県（約 3,691 ㎢）と同等程度の面積で、４市７町の市町で構成されています。



西部地域	面積（㎢）	中部地域	面積（㎢）	東部地域	面積（㎢）
豊浦町	233.57	室蘭市	81.01	苫小牧市	561.66
洞爺湖町	180.87	登別市	212.21	安平町	237.16
壮瞥町	205.01	白老町	425.64	厚真町	404.61
伊達市	444.21	苫小牧市	561.66	むかわ町	711.36
室蘭市	81.01	小計	1280.52	小計	1914.79
小計	1144.67				
合計：3,697.31㎢					

出典：令和４年全国都道府県市区町村別面積調（４月１日時点）_国土地理院

https://www.gsi.go.jp/KOKUJYOHO/MENCHO-title.htm

国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省をもとに作成

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

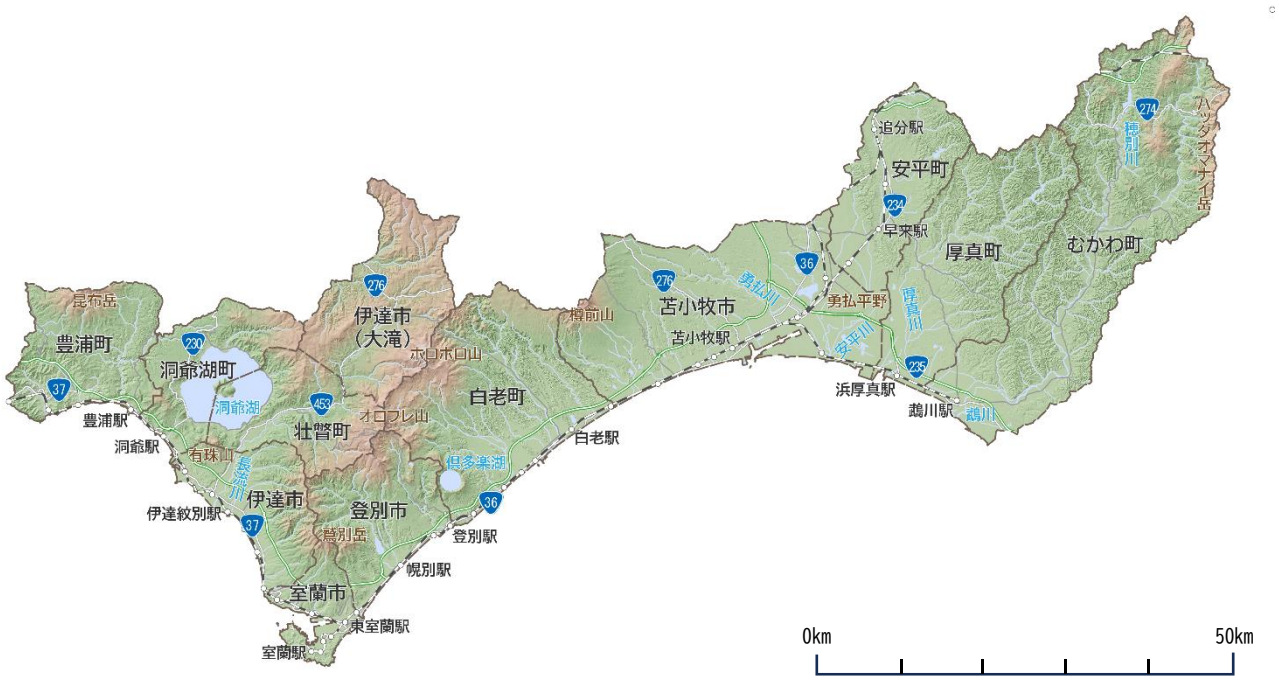
図　3-1　北海道胆振地域の各市町の位置・面積

（2）地勢

本地域には、支笏洞爺国立公園に指定されているすぐれた景勝地があります。洞爺湖周辺では、有珠山、昭和新山などが、国際的にも重要な火山現象と火山地形を呈しています。登別周辺では、登別地獄谷、大湯沼、倶多楽湖などから構成される、温泉郷独特のたたずまいを見ることができます。

樽前山周辺では、樽前山と支笏湖が、森林と湖の静かな景観を形成しています。

そのほか、都市近郊の湖沼や海岸線などにも、国指定鳥獣保護区やラムサール条約登録湿地に指定されているウトナイ湖をはじめとして、美々川流域、地球岬周辺など、質の高い自然が広く残されています。



出典：基盤地図情報「数値標高モデル」_国土地理院

https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php

国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

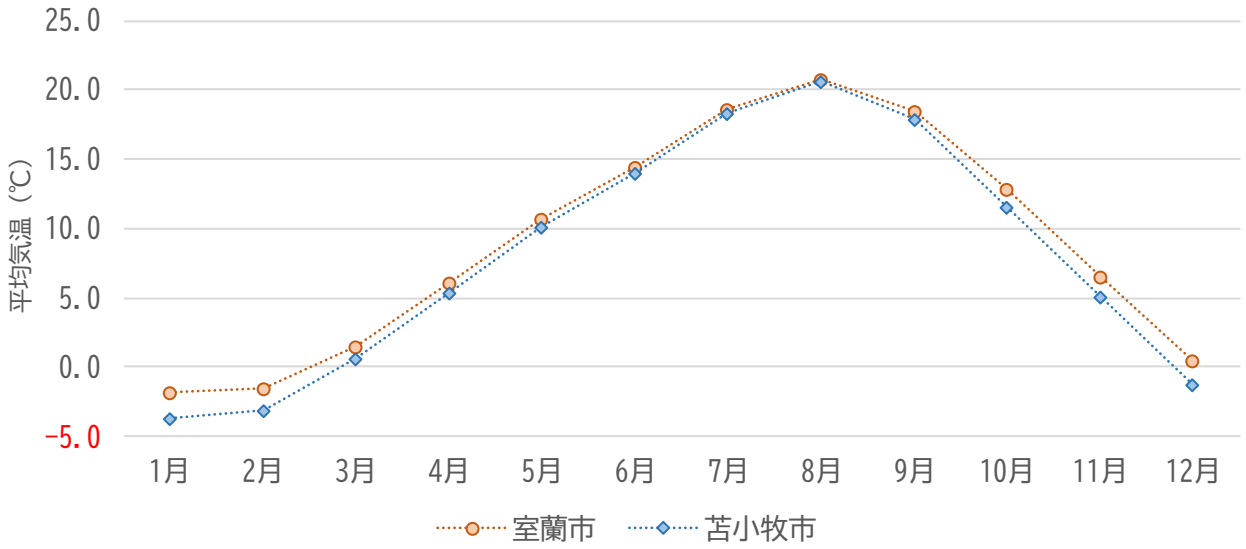
国土数値情報「鉄道データ」_国土交通省をもとに作成

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N05-v2_0.html

図 3-2　本地域の地勢

（3）気候

本地域は北海道の沿岸部にあり、比較的温暖な地域であり、夏と冬の気温差は 20℃程度と海洋性気候の地域です。また、登別市、伊達市北部、白老町、壮瞥町周辺にまたがる「オロフレ山系」は、道内でも雨量の多い地域であり、月間平均降水量が 8 月には 200mm を超える状況にもあります。

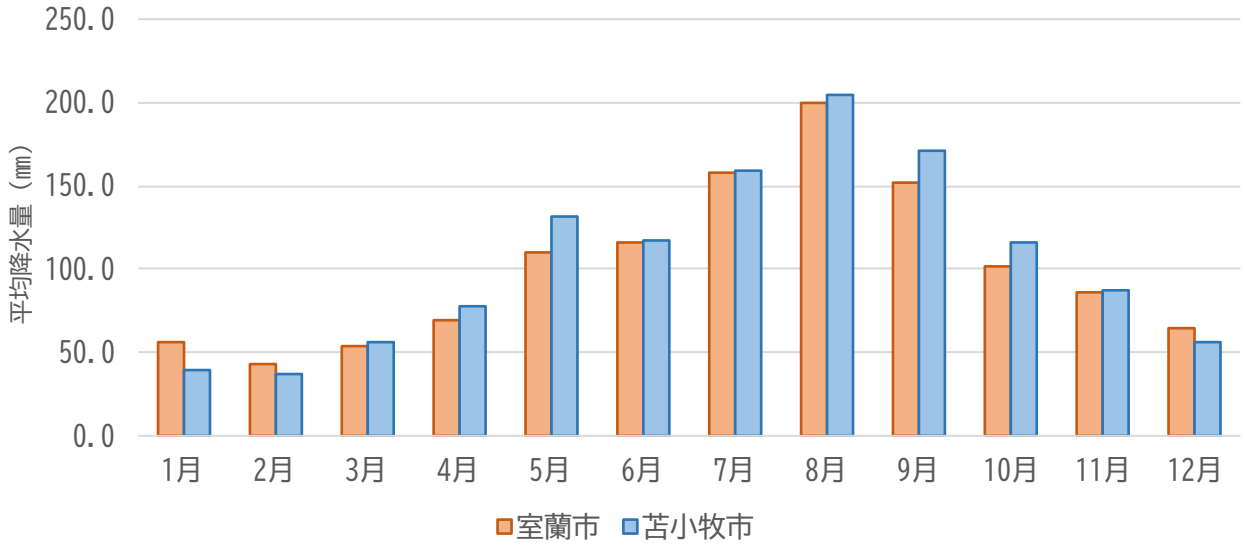


出典：観測開始からの毎月の値_気象庁をもとに作成

室蘭市（https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=21&block_no=47423&year=2022&month=&day=&view=a1）

苫小牧市（https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=21&block_no=47424&year=2022&month=&day=&view=a1）

図 3-3 平均月間気温（過去 30 年間（平成 5 年-令和 4 年）平均）



出典：観測開始からの毎月の値_気象庁をもとに作成

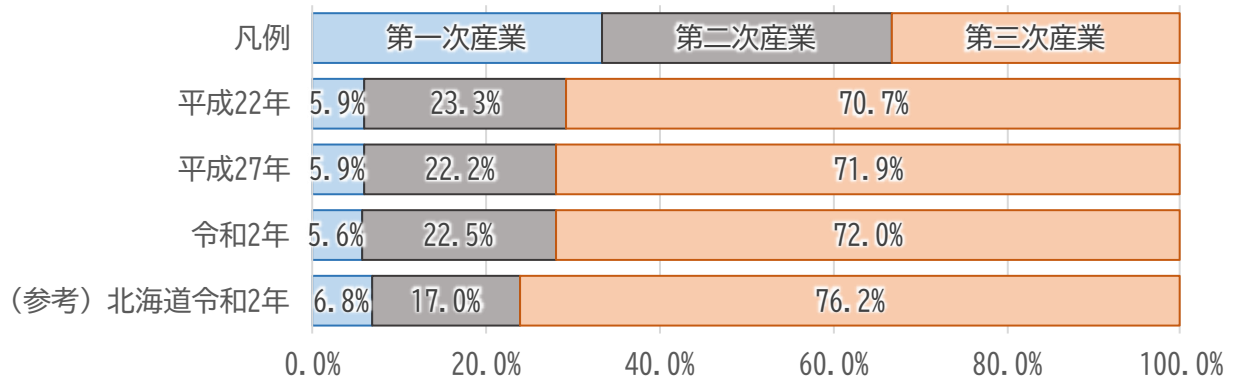
室蘭市（https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=21&block_no=47423&year=2022&month=&day=&view=p5）

苫小牧市（https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/view/monthly_s3.php?prec_no=21&block_no=47424&year=2022&month=&day=&view=p5）

図 3-4 平均月間降水量（過去 30 年間（平成 5 年-令和 4 年）平均）

（4）産業別就業者数

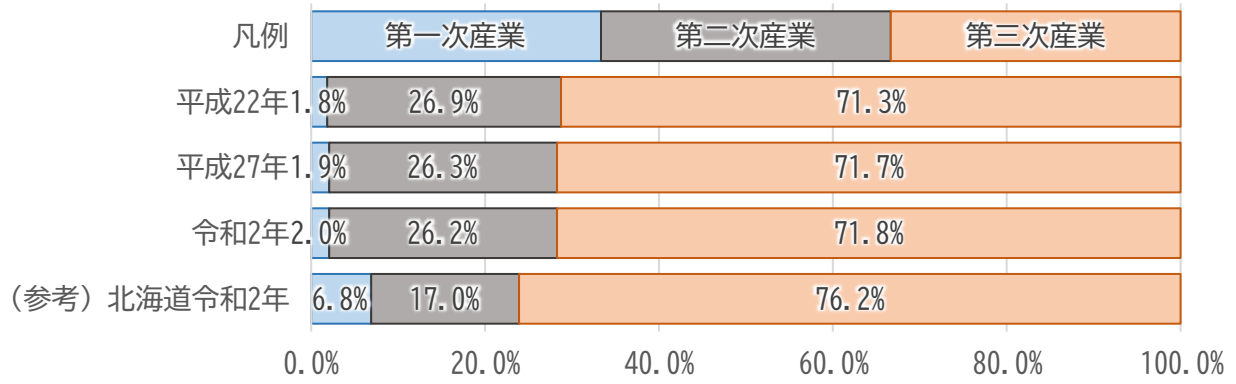
本地域は北海道全体と比較し、第二次産業の就業者数が多い状況です。また、西部・中部・東部の地域間で比較すると、洞爺湖温泉や登別温泉を有する西部・中部地域においては、東部地域と比較し、第三次産業の占める割合が高い傾向にあります。



出典：国勢調査（平成 22 年、平成 27 年、令和 2 年）_総務省統計局をもとに作成

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

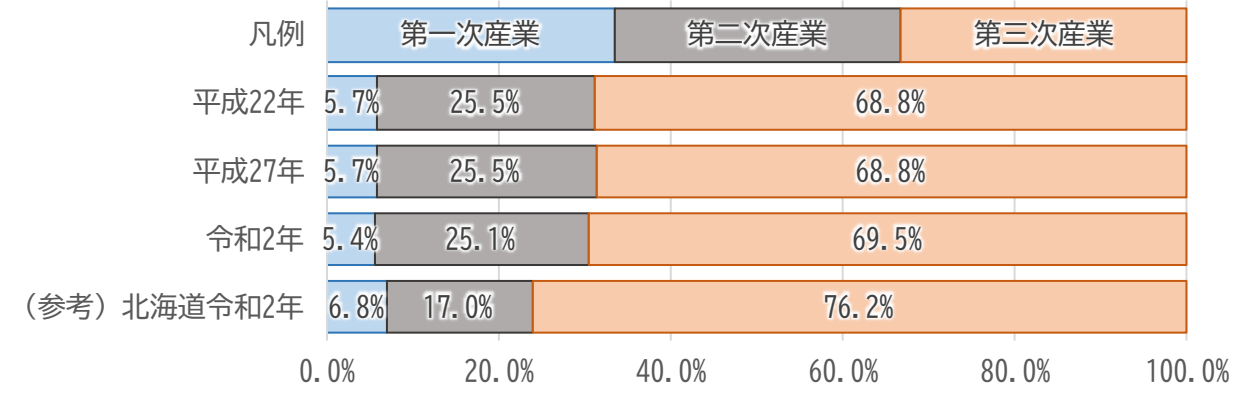
図 3-5 西部地域の産業別就業者数



出典：国勢調査（平成 22 年、平成 27 年、令和 2 年）_総務省統計局をもとに作成

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

図 3-6 中部地域の産業別就業者数



出典：国勢調査（平成 22 年、平成 27 年、令和 2 年）_総務省統計局をもとに作成

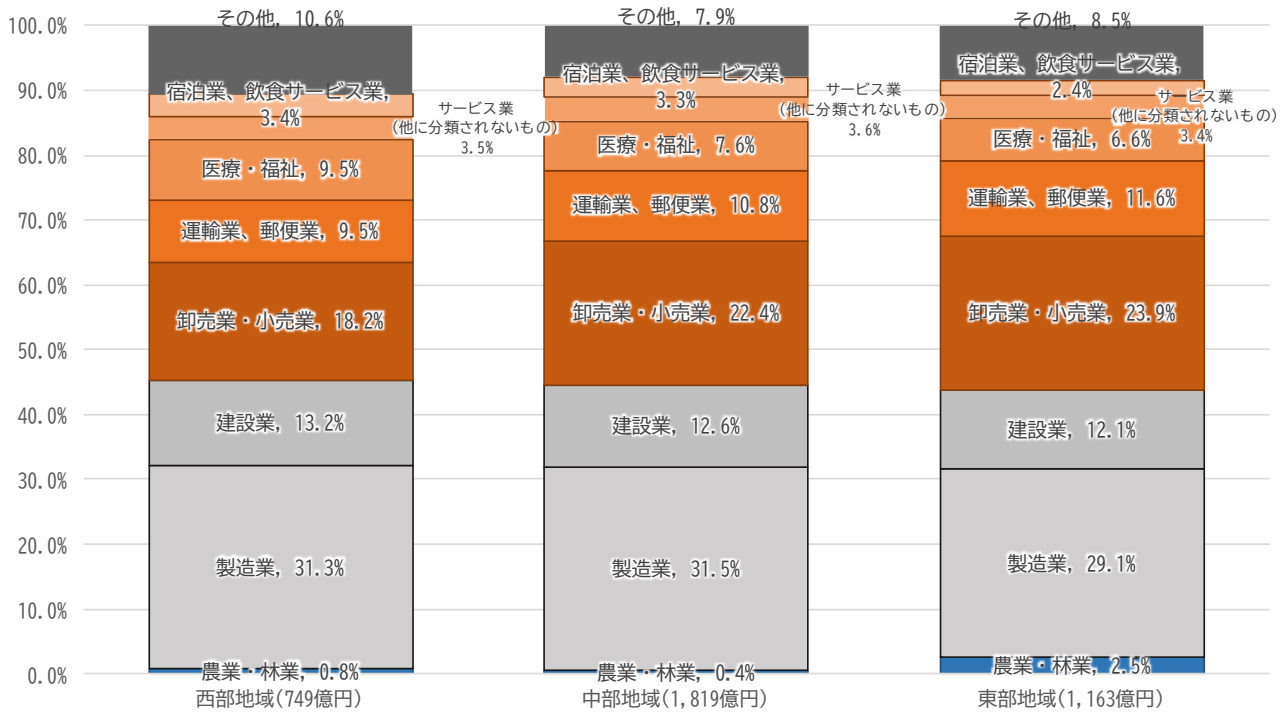
https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

図 3-7 東部地域の産業別就業者数

（５）業種別売上高

本地域の業種別売上高は、平成 28（2016）年度時点で 2,088 億円となっており、産業別にみると、ものづくり産業が道内でも特に盛んな地域のため、第二次産業の製造業の割合が最も高く、次いで第三次産業の卸売業・小売業が高くなっています。

このほか、西部・中部地域においては洞爺湖温泉や登別温泉を有しているため、宿泊業、飲食サービス業の割合が東部地域と比較し高く、東部地域においては農業・林業の割合が西部・中部地域と比較し高い傾向です。



出典：地域経済分析システム「産業構造マップ-全産業-全産業の構造」_内閣府地方創生推進室をもとに作成

https://resas.go.jp/industry-all/#/map/1/01230/2016/1/1/1/-/1/1/1/-/-/2012/2016

図 3-8 各地域の産業構造

|3-2| 社会状況

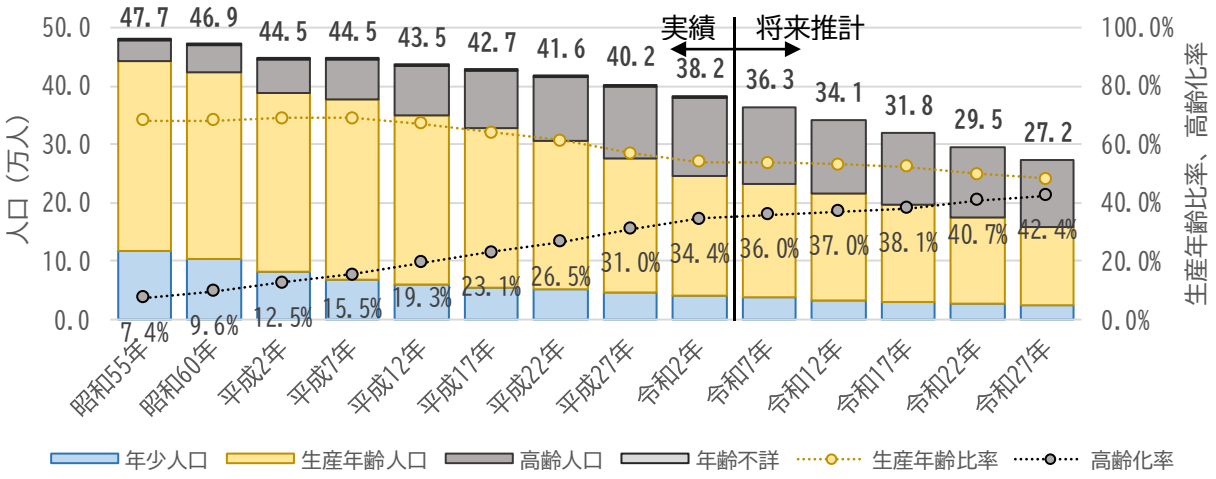
（1）人口

（1）-1）人口の推移

本地域の総人口は減少傾向で、令和 2（2020）年時点では 382,354 人となっており、今後も減少が続き、本計画の最終年付近である令和 12（2030）年には 340,864 人まで減少するものと予測されています。

また、高齢化率（65 歳以上人口の割合）は令和 2（2020）年時点で 34.4%となっており、令和 12（2030）年では 37.0%まで上昇することが予測されています。

西部・中部・東部地域では、全地域で人口は減少するものの、東部地域では比較的減少が緩やかであることが予測されています。



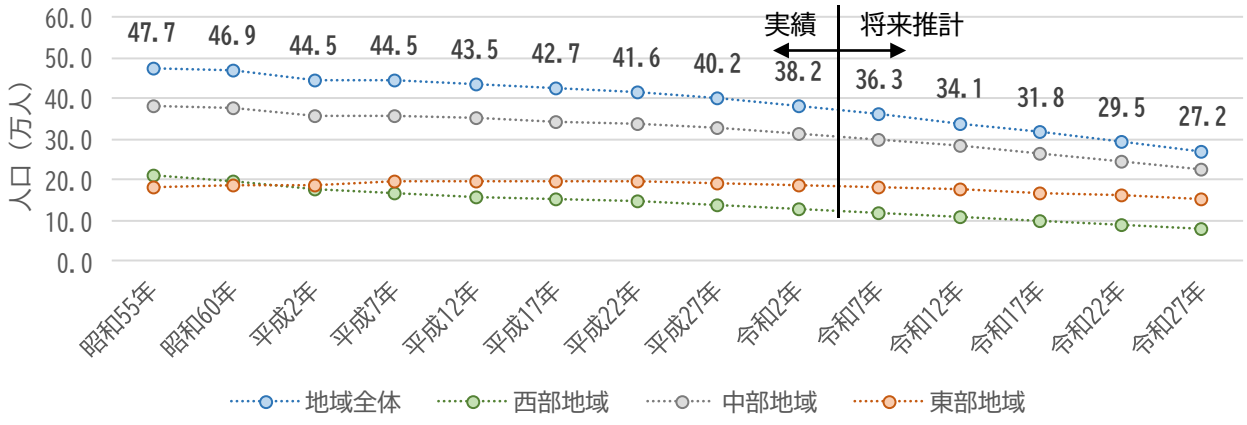
出典：国勢調査（昭和 55 年～令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 7 年～令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

図 3-9 地域全体の人口推移



出典：国勢調査（昭和 55 年～令和 2 年）_総務省統計局

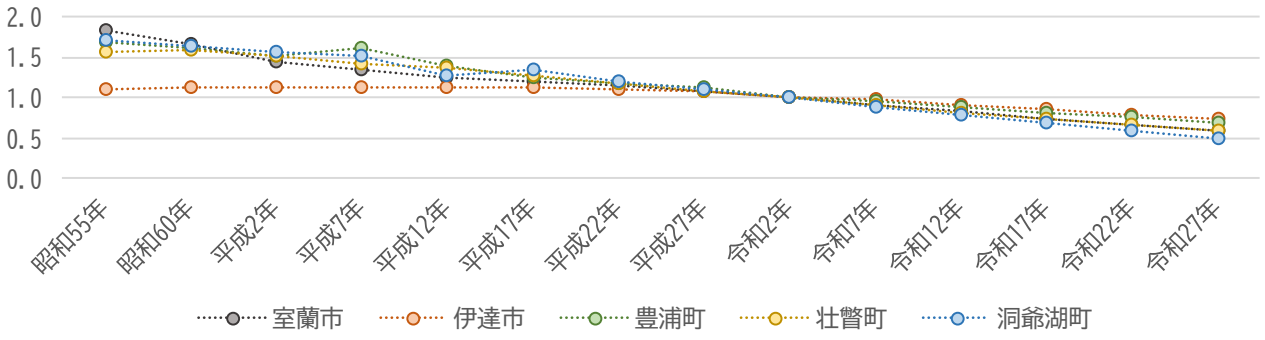
https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 7 年～令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

図 3-10 各地域の人口推移

本地域は昭和 55（1980）年から令和 27（2045）年にかけて全市町の人口が減少傾向にあり、とりわけ西部地域では洞爺湖町、中部地域では白老町、東部地域ではむかわ町が令和 2（2020）年から令和 27（2045）年にかけて約 5 割減少することが予測されています。



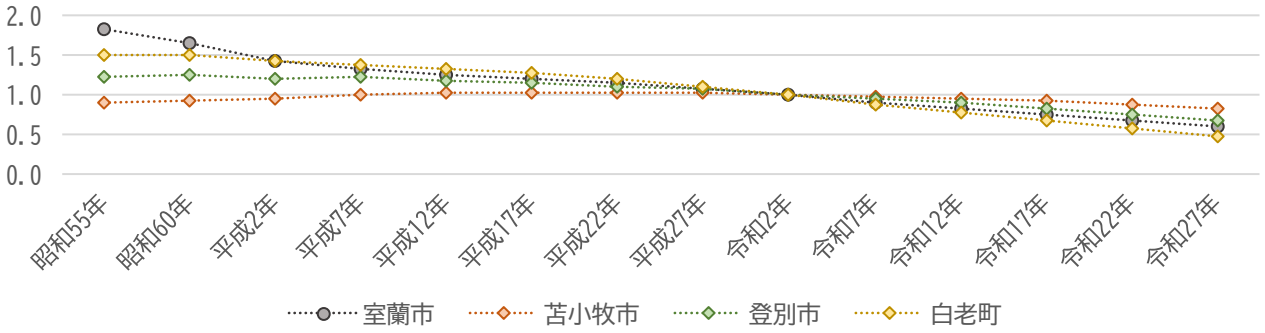
出典：国勢調査（昭和 55 年～令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 7 年～令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

図 3-11　西部地域の市町毎の人口推移（令和 2 年人口を 1.0 とした場合の比率）



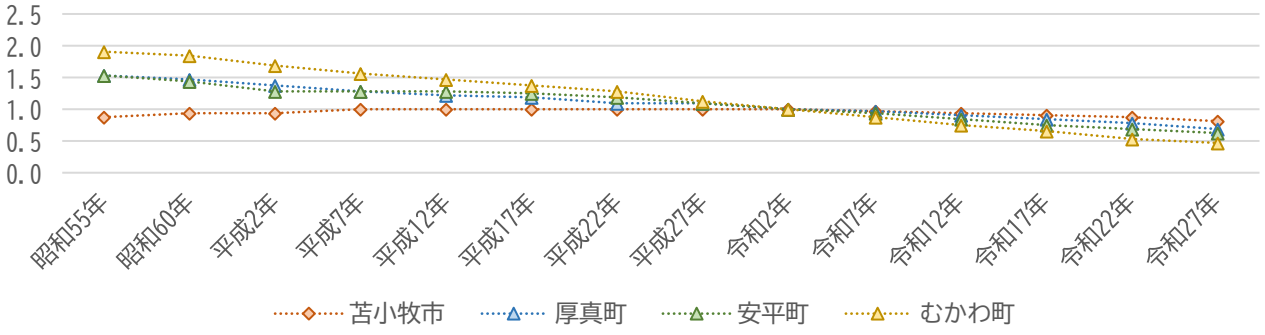
出典：国勢調査（昭和 55 年～令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 7 年～令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

図 3-12　中部地域の市町毎の人口推移（令和 2 年人口を 1.0 とした場合の比率）



出典：国勢調査（昭和 55 年～令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

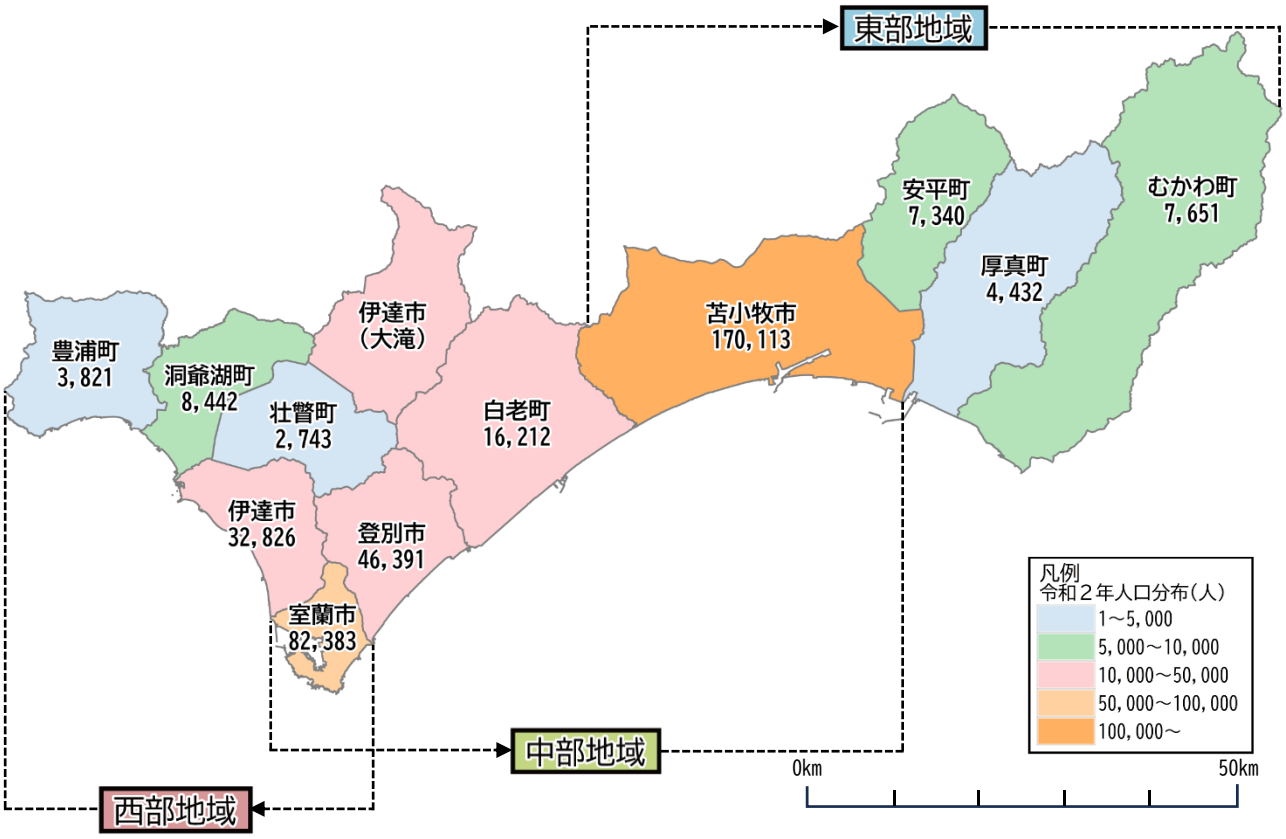
将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 7 年～令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

図 3-13　東部地域の市町毎の人口推移（令和 2 年人口を 1.0 とした場合の比率）

（1）-2）人口の分布

本地域の総人口 382,354 人（令和 2（2020）年）のうち、中核都市群※10である室蘭市 82,383 人、苫小牧市 170,113 人、登別市 46,391 人、白老町 16,212 人の計 315,099 人と中核都市群に約 82.4%が集中しているほか、地域中心都市※11である伊達市 32,826 人と中核都市群・地域中心都市に約 91.0%が集中し、そのほかの市町に約 9.0%の 34,429 人が居住しています。



出典：国勢調査（令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省をもとに作成

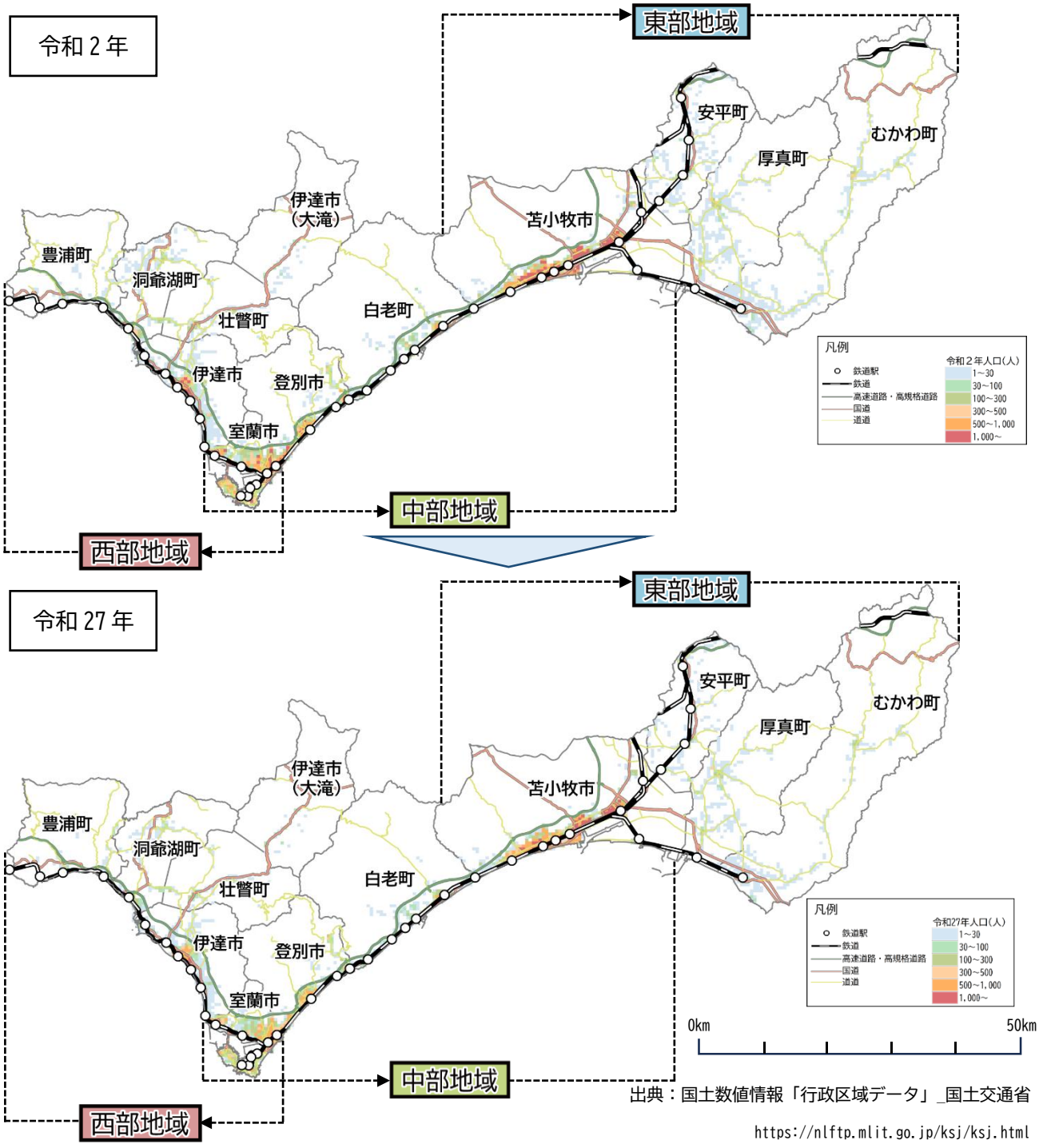
https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

図 3-14　地区・市町毎の人口

※10 中核都市と相互に結びつきが強く、一体的に都市機能を発揮する都市
※11 エリアの中で都市サービスや日常的な生活ニーズなどの面において、中核都市の機能を補完する市や町

500m メッシュ人口※12をみると、中核都市群である室蘭市、苫小牧市、登別市及び白老町の市街地に人口が集中しているほか、地域中心都市である伊達市の市街地にも人口が集積しています。そのほかの市町においては、広範囲に人口が分散しています。

令和 27（2045）年には全市町で人口減少が進み、より低密度に人口が分布することが推計されています。



出典：国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

国勢調査（令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

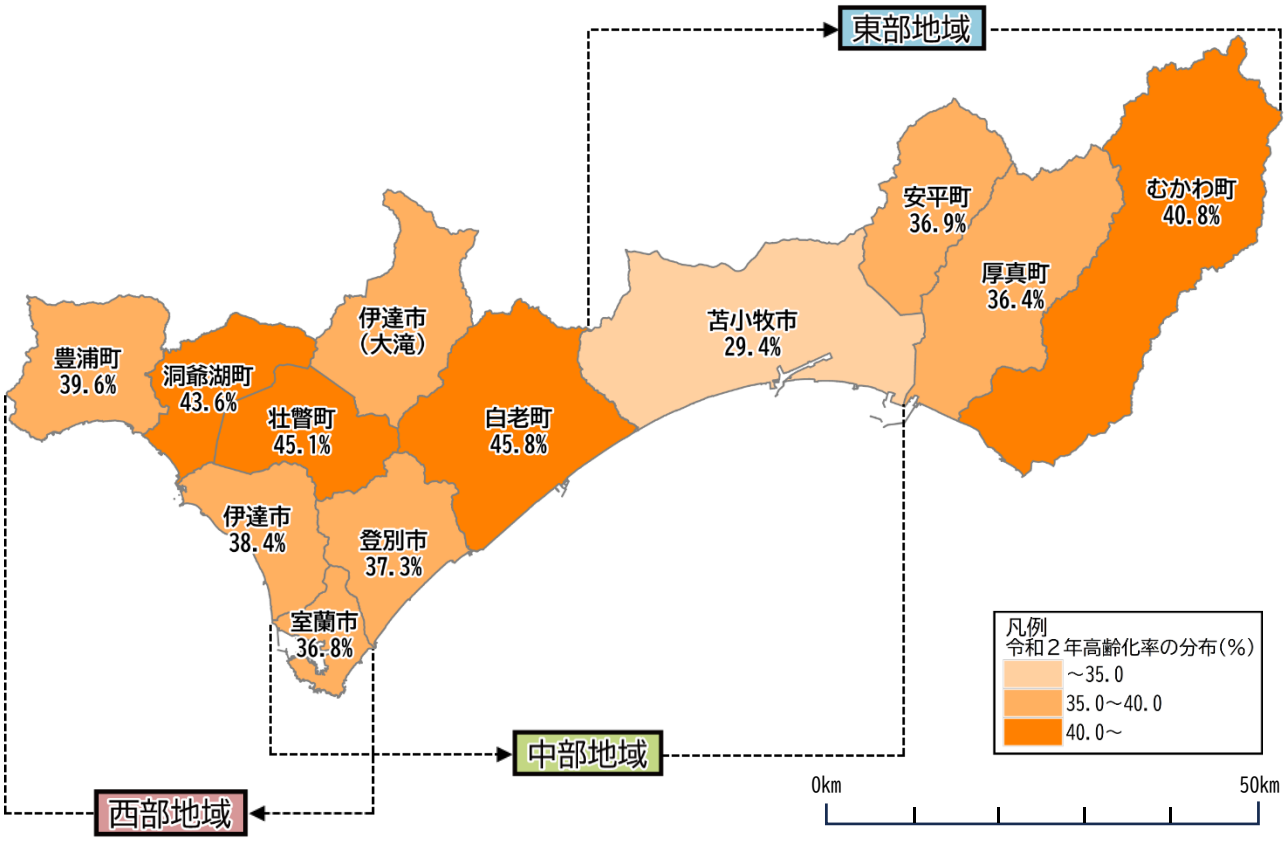
https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

図 3-15　人口小分布の推移（500m メッシュ人口）

※12 緯度・経度に基づき地域を隙間なく網の目（メッシュ）の区域に分けて、それぞれの区域に関する人口データを編成したもの

（1）-3）高齢化率の分布

各市町の高齢化率（65 歳以上人口の割合）は、苫小牧市で 30%を下回っていますが、40%を超える町もあり、高齢化社会の進行が深刻化しています。



出典：国勢調査（令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

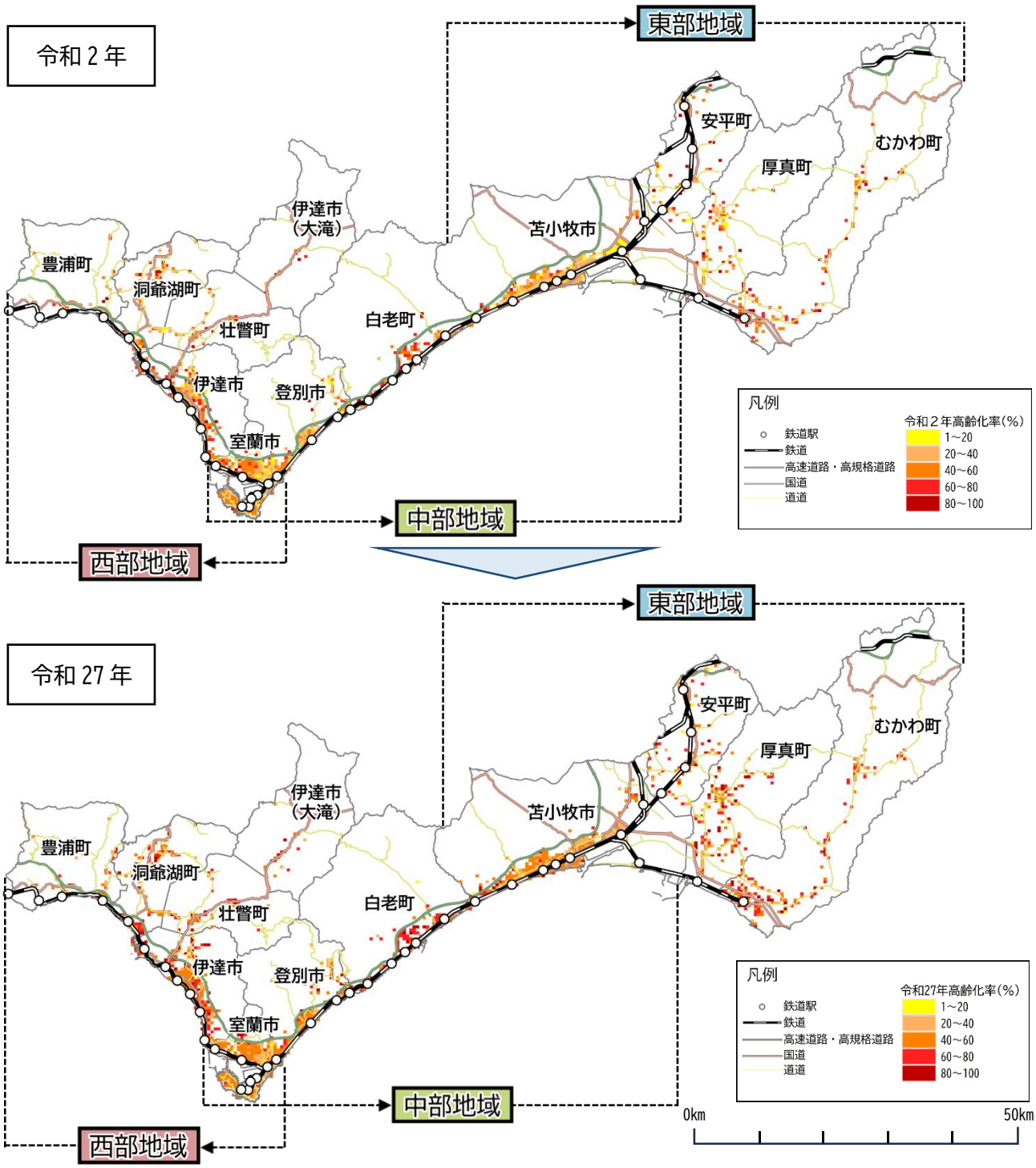
国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省をもとに作成

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

図 3-16　市町毎の高齢化率

500m メッシュで高齢化率をみると、市街地は比較的高齢化率は低い傾向にありますが、郊外部においては高齢化率が高いメッシュが広範囲に点在している傾向にあります。

また、令和 27（2045）年には市街地においても高齢化率が高くなる傾向にあり、郊外部においては高齢化に拍車がかかることが推計されています。



出典：国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

国勢調査（令和 2 年）_総務省統計局

https://www.stat.go.jp/data/kokusei/2020/index.html

将来推計人口（平成 30 年推計）（令和 27 年）_国立社会保障・人口問題研究所をもとに作成

https://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson18/t-page.asp

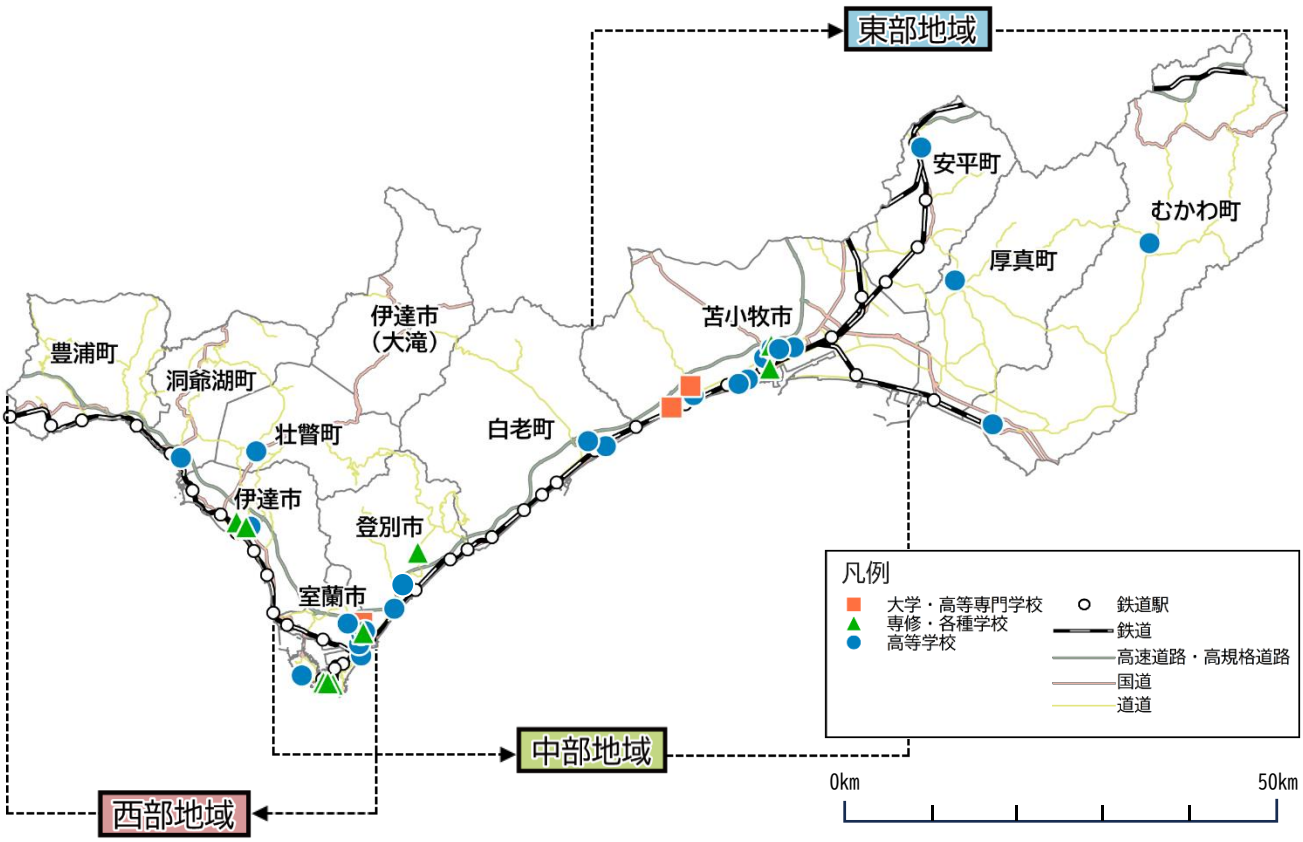
図 3-17　高齢化率分布の推移（500m メッシュ人口）

（２）生活機能施設の分布

（２）-１）教育施設

本地域の高等学校（中等教育学校を含む）は 25 校中 13 校が中核都市群である室蘭市・苫小牧市に集中しており、登別市、白老町、むかわ町に各 2 校、伊達市、壮瞥町、厚真町、洞爺湖町、安平町に各 1 校が立地しています。

また、大学は室蘭市、苫小牧市に各 1 校、高等専門学校は苫小牧市に 1 校、専修学校は室蘭市に 4 校、苫小牧市に 3 校、登別市に 1 校、伊達市に 2 校が立地しています。



出典：国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

国土数値情報「学校データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/

令和 4 年度北海道学校一覧_北海道教育委員会をもとに作成

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2022gakkou-i.html

図 3-18　本地域の教育施設

表 3-1　本地域の高等学校・中等教育学校

（生徒数単位：人）

地区名	市町名	学校名		学科	生徒数
西部地域	洞爺湖町	道立	虻田高等学校	商業（全）	50
	壮瞥町	町立	壮瞥高等学校	農業（全）	63
	伊達市	道立	伊達開来高等学校	普通（全）	461
西部地域・中部地域	室蘭市	道立	室蘭栄高等学校	普通、理数（全・定）	752
	室蘭市	道立	室蘭清水丘高等学校	普通（全）	452
	室蘭市	道立	室蘭工業高等学校	工業（全）	313
	室蘭市	道立	室蘭東翔高等学校	総合（全）	471
	室蘭市	私立	北海道大谷室蘭高等学校	普通（全）	406
	室蘭市	私立	海星学院高等学校	普通（全）	231
中部地域	登別市	道立	登別市明日中等教育学校	普通（全）	443
	登別市	道立	登別青嶺高等学校	普通（全）	352
	白老町	道立	白老東高等学校	普通（全）	158
	白老町	私立	北海道栄高等学校	普通（全）	420
中部地域・東部地域	苫小牧市	道立	苫小牧東高等学校	普通（全・定）	765
	苫小牧市	道立	苫小牧西高等学校	普通（全）	470
	苫小牧市	道立	苫小牧工業高等学校	工業（全・定）	727
	苫小牧市	道立	苫小牧南高等学校	普通（全）	458
	苫小牧市	道立	苫小牧総合経済高等学校	商業（全）	356
	苫小牧市	私立	苫小牧中央高等学校	普通（全）	167
	苫小牧市	私立	駒澤大学附属苫小牧高等学校	普通（全）	833
東部地域	安平町	道立	追分高等学校	普通（全）	62
	厚真町	道立	厚真高等学校	普通（全）	75
	むかわ町	道立	穂別高等学校	普通（全）	24
	むかわ町	道立	鵡川高等学校	普通（全）	139

※　学科の括弧書き：全→全日制、定→定時制

※　伊達緑丘高等学校と伊達高等学校の統合校として「伊達開来高等学校」が開校

出典：令和 4 年度北海道学校一覧「高等学校・中等教育学校の部」_北海道教育委員会

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2022gakkou-i.html

表 3-2　本地域の大学・高等専門学校

地区名	市町名	学校名		学部	学科・課程
西部地域・中部地域	室蘭市	国立	室蘭工業大学	理工	創造工、システム理化、応用理化学系、建築社会基盤系、情報電子工学系、機械航空創造系
中部地域・東部地域	苫小牧市	私立	北洋大学	国際文化	キャリア創造
	苫小牧市	国立	苫小牧工業高等専門学校		創造工、専攻

出典：令和 4 年度北海道学校一覧「大学・短期大学・高等専門学校の部」_北海道教育委員会

https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2022gakkou-i.html

表 3-3　本地域の専修学校

（生徒数単位：人）

地区名	市町名	学校名		学科・課程	生徒数
西部地域	伊達市	私立	情報芸術学院	放送、コンピューター、レディス OA ビジネス、環境芸術、日本語	-
	伊達市	私立	伊達赤十字看護専門学校	看護	-
西部地域・中部地域	室蘭市	市立	市立室蘭看護専門学院	看護	143
	室蘭市	私立	日鋼記念看護学校	看護	-
	室蘭市	私立	北海道福祉教育専門学校	自立支援看護福祉、こども未来	-
	室蘭市	私立	北斗文化学園インターナショナル調理技術専門学校	調理師、専攻科プロフェッショナルコース	-
中部地域	登別市	私立	日本工学院北海道専門学校	医療事務、CG デザイナー、建築、情報処理、自動車整備、ホテル、公務員、電気工、IT スペシャリスト	-
中部地域・東部地域	苫小牧市	私立	苫小牧高等商業学校	タイプ、総合ビジネス	
	苫小牧市	私立	苫小牧看護専門学校	看護	-
	苫小牧市	私立	王子総合病院付属看護専門学校	看護	-

出典：令和 4 年度北海道学校一覧「専修学校の部」_北海道教育委員会

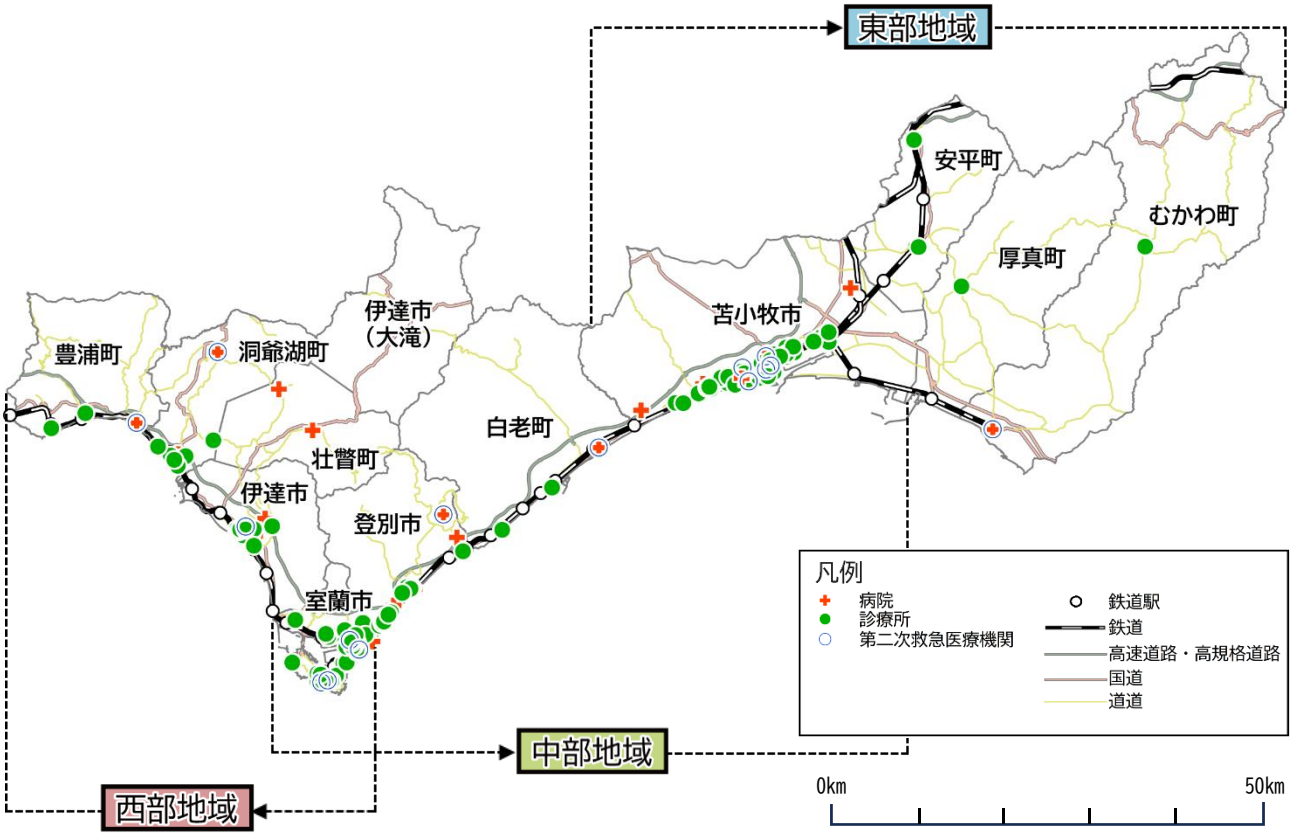
https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ksk/chousatoukei/gakkou-ichiran/2022gakkou-i.html

令和 5 年度私立学校名簿「専修学校」_北海道

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/gkj/82787.html

（2）-2）医療施設

本地域の医療施設は、病院※13が 36 施設（うち第二次救急医療機関※14 16 施設）立地しており、中核都市群である室蘭市に 7 施設、苫小牧市に 13 施設と 36 施設中 20 施設が集中しています。また、診療所※15が 161 施設立地しており、中核都市群である室蘭市に 41 施設、苫小牧市に 72 施設、地域中心都市である伊達市に 20 施設と 161 施設中 133 施設が集中しています。



出典：国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

コード内容医療機関一覧表（令和 5 年 10 月 1 日時点）_北海道厚生局

https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/hokkaido/gyomu/gyomu/hoken_kikan/code_ichiran.html

北海道医療計画（平成 30 年度～令和 5 年度）「＜中間見直し＞別表 10（令和 5 年 7 月 1 日時点）」_北海道をもとに作成

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/minaoshi.html

図 3-19 本地域の医療機関

※13 二十人以上の患者を入院させるための施設を有する医療機関
※14 24 時間 365 日体制で手術や入院が必要な重症患者を受け入れ、救命救急医療を提供する医療機関
※15 患者を入院させるための施設は有しないもの又は十九人以下の患者を入院させるための施設を有する医療機関

表 3-4　本地域の医療施設

（単位：施設）

地区	市町名	病院 （第二次救急医療機関）	診療所
西部地域	豊浦町	1　(1)	2
	洞爺湖町	2　(2)	6
	壮瞥町	2　(0)	0
	伊達市	3　(1)	20
	室蘭市	7　(4)	41
中部地域	登別市	6　(1)	14
	白老町	1　(1)	2
	苫小牧市	13　(5)	72
東部地域	安平町	0　(0)	2
	厚真町	0　(0)	1
	むかわ町	1　(1)	1
西部地域合計		15　(8)	69
中部地域合計		27 (11)	129
東部地域合計		14　(6)	76
胆振地域合計		36 (16)	161

出典：コード内容医療機関一覧表（令和 5 年 10 月 1 日時点）_北海道厚生局

https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/hokkaido/gyomu/gyomu/hoken_kikan/code_ichiran.html

北海道医療計画（平成 30 年度～令和 5 年度）「＜中間見直し＞別表 10（令和 5 年 7 月 1 日時点）」_北海道

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/cis/iryokeikaku/minaoshi.html

表 3-5　本地域の病院

（診療科数単位：科、病床数単位：床）

地区名	市町名	第二次救急医療機関	医療機関名	診療科数	病床数
西部地域	豊浦町	●	豊浦町国民健康保険病院	4	60
	洞爺湖町	●	医療法人社団洞仁会洞爺温泉病院	6	116
	洞爺湖町	●	社会福祉法人北海道社会事業協会洞爺病院	9	199
	壮瞥町		医療法人交雄会そうべつ温泉病院	2	60
	壮瞥町		医療法人社団倭会三恵病院	3	178
	伊達市	●	総合病院伊達赤十字病院	17	330
	伊達市		社会医療法人慈恵会聖ヶ丘病院	9	288
	伊達市		医療法人社団倭会ミネルバ病院	2	162
西部地域・中部地域	室蘭市	●	社会医療法人製鉄記念室蘭病院	27	347
	室蘭市	●	医療法人社団医集会大川原脳神経外科病院	5	137
	室蘭市	●	社会医療法人母恋日鋼記念病院	25	348
	室蘭市	●	市立室蘭総合病院	23	527
	室蘭市		医療法人室蘭太平洋病院	6	210
	室蘭市		医療法人積信会三村病院	3	250
	室蘭市		医療法人社団上田病院	4	120
中部地域	登別市	●	独立行政法人地域医療機能推進機構登別病院	7	110
	登別市		医療法人社団千寿会三愛病院	10	534
	登別市		医療法人登別すずらん病院	3	130
	登別市		社会医療法人友愛会恵愛病院	5	250
	登別市		社会医療法人母恋登別記念病院	5	120
	登別市		医療法人社団楽生会皆川病院	4	84
	白老町	●	白老町立国民健康保険病院	4	48
中部地域・東部地域	苫小牧市	●	医療法人同樹会苫小牧病院	8	141
	苫小牧市	●	医療法人王子総合病院	25	440
	苫小牧市	●	苫小牧市立病院	23	382
	苫小牧市		医療法人社団養生館青葉病院	4	52
	苫小牧市	●	公益社団法人北海道勤労者医療協会勤医協苫小牧病院	4	80
	苫小牧市		医療法人社団玄洋会道央佐藤病院	5	402
	苫小牧市		社会医療法人延山会苫小牧澄川病院	6	90
	苫小牧市	●	医療法人社団養生館苫小牧日翔病院	12	168
	苫小牧市		社会医療法人こぶし植苗病院	3	221
	苫小牧市		医療法人社団眞和會苫小牧病院	3	59
	苫小牧市		医療法人社団嵩仁会苫都病院	5	24
	苫小牧市		医療法人秦和会苫小牧緑ヶ丘病院	2	111
	苫小牧市		社会医療法人平成醫塾苫小牧東病院	11	260
東部地域	むかわ町	●	むかわ町鵡川厚生病院	5	40

出典：コード内容医療機関一覧表（令和 5 年 10 月 1 日時点）_北海道厚生局

https://kouseikyoku.mhlw.go.jp/hokkaido/gyomu/gyomu/hoken_kikan/code_ichiran.html

（2）-3）商業施設

本地域の複合商業施設は、中核都市群の室蘭市に 2 施設、苫小牧市に 1 施設、登別市に 2 施設、地域中心都市である伊達市に 1 施設が立地しています。そのほか、スーパー等については各市町に立地しており、室蘭市に 11 施設、苫小牧市に 28 施設と他市町と比較し、多く立地しています。

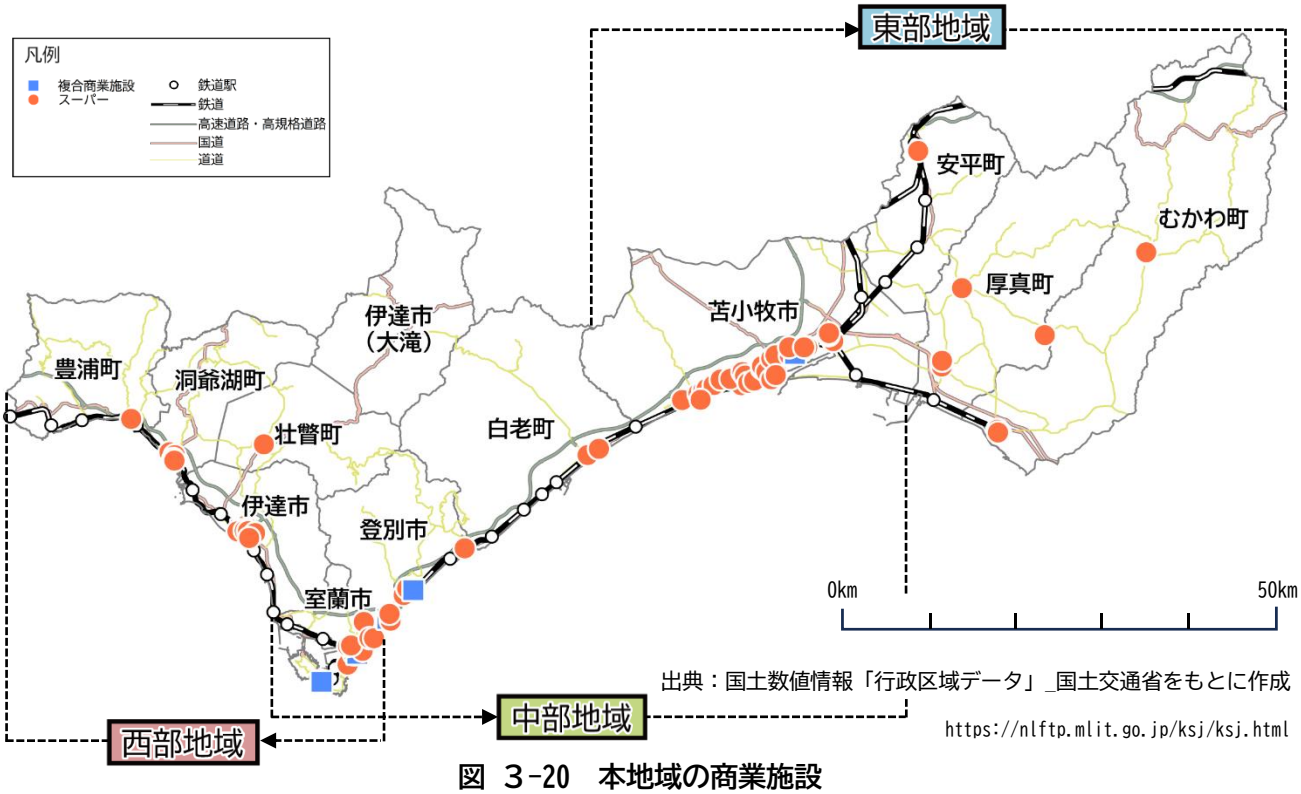


図 3-20 本地域の商業施設

表 3-6 本地域の商業施設

（施設数単位：施設）

地区	市町名	複合商業施設	スーパー等
西部地域	豊浦町	0	1
	洞爺湖町	0	4
	壮瞥町	0	1
	伊達市	1	6
	室蘭市	2	11
中部地域	登別市	2	7
	白老町	0	2
	苫小牧市	1	28
東部地域	安平町	0	1
	厚真町	0	3
	むかわ町	0	7
西部地域合計		3	23
中部地域合計		5	48
東部地域合計		1	39
胆振地域合計		6	71

（３）観光

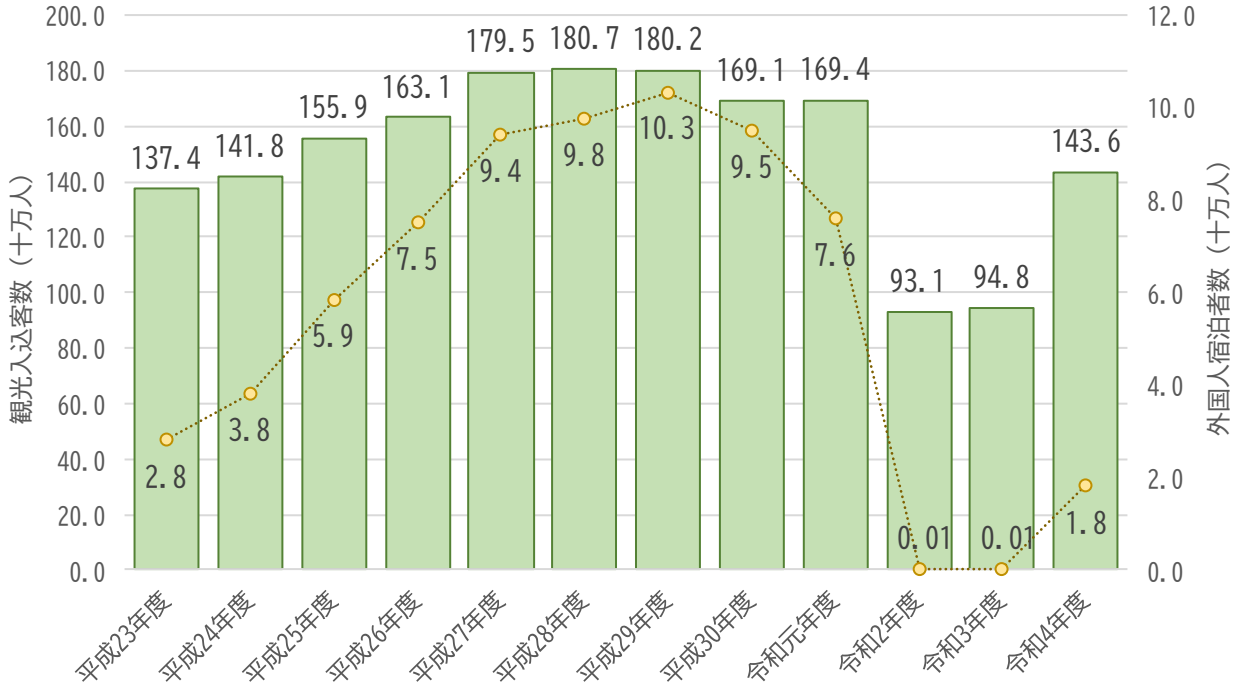
（３）－１）観光入込客数

本地域の観光入込客数は平成 28（2016）年度にかけて増加傾向であり、平成 28（2016）年度には 1,800 万人を超え、令和元（2019）年度まで 1,700 万人程度を維持してきました。

一方で、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった令和元（2019）年度においては外国人宿泊者数が平成 26（2014）年度の水準まで落ち込み、令和 2（2020）年度・令和 3（2021）年度においてはさらに大きく減少し、約 1,000 人となっています。

令和 4（2022）年度においては、国内観光需要の喚起などにより、地域全体での観光入込客数が 1,400 万人を超え、回復傾向にあります。

また、本地域の 11 市町のうち 5 市町（登別市、洞爺湖町、壮瞥町、苫小牧市、伊達市）が、新型コロナウイルス感染症流行前の平成 30（2018）年度において北海道内の観光入込客数が多い市町村の上位 20 位に入っており、直近の令和 4（2022）年度の結果でも 11 市町のうち 4 市町（登別市、白老町、苫小牧市、洞爺湖町）が上位 20 位に入っています。



出典：観光入込客数調査報告書（平成 23 年度から令和 4 年度）_北海道をもとに作成

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html

図 3-21 観光入込客数の推移

表 3-7　北海道内の観光入込客数の多い市町村

（左：平成 30 年度、右：令和 4 年度）

順位	市町村名	観光入込客数
1	札幌市	1,585 万人
2	小樽市	781 万人
3	釧路市	530 万人
4	旭川市	527 万人
5	函館市	526 万人
6	千歳市	498 万人
7	登別市	378 万人
8	帯広市	293 万人
9	洞爺湖町	259 万人
10	石狩市	254 万人
11	喜茂別町	245 万人
12	七飯町	233 万人
13	美瑛町	226 万人
14	壮瞥町	201 万人
15	苫小牧市	200 万人
16	富良野市	192 万人
17	伊達市	173 万人
18	上川町	171 万人
19	占冠町	170 万人
20	ニセコ町	167 万人

順位	市町村名	観光入込客数
1	札幌市	1,311 万人
2	函館市	455 万人
3	旭川市	414 万人
4	小樽市	407 万人
5	釧路市	381 万人
6	音更町	256 万人
7	登別市	234 万人
8	喜茂別町	230 万人
9	白老町	220 万人
10	苫小牧市	213 万人
11	恵庭市	201 万人
12	石狩市	199 万人
13	洞爺湖町	195 万人
14	長沼町	186 万人
15	七飯町	186 万人
16	帯広市	183 万人
17	美瑛町	182 万人
18	千歳市	175 万人
19	富良野市	163 万人
20	当別町	163 万人

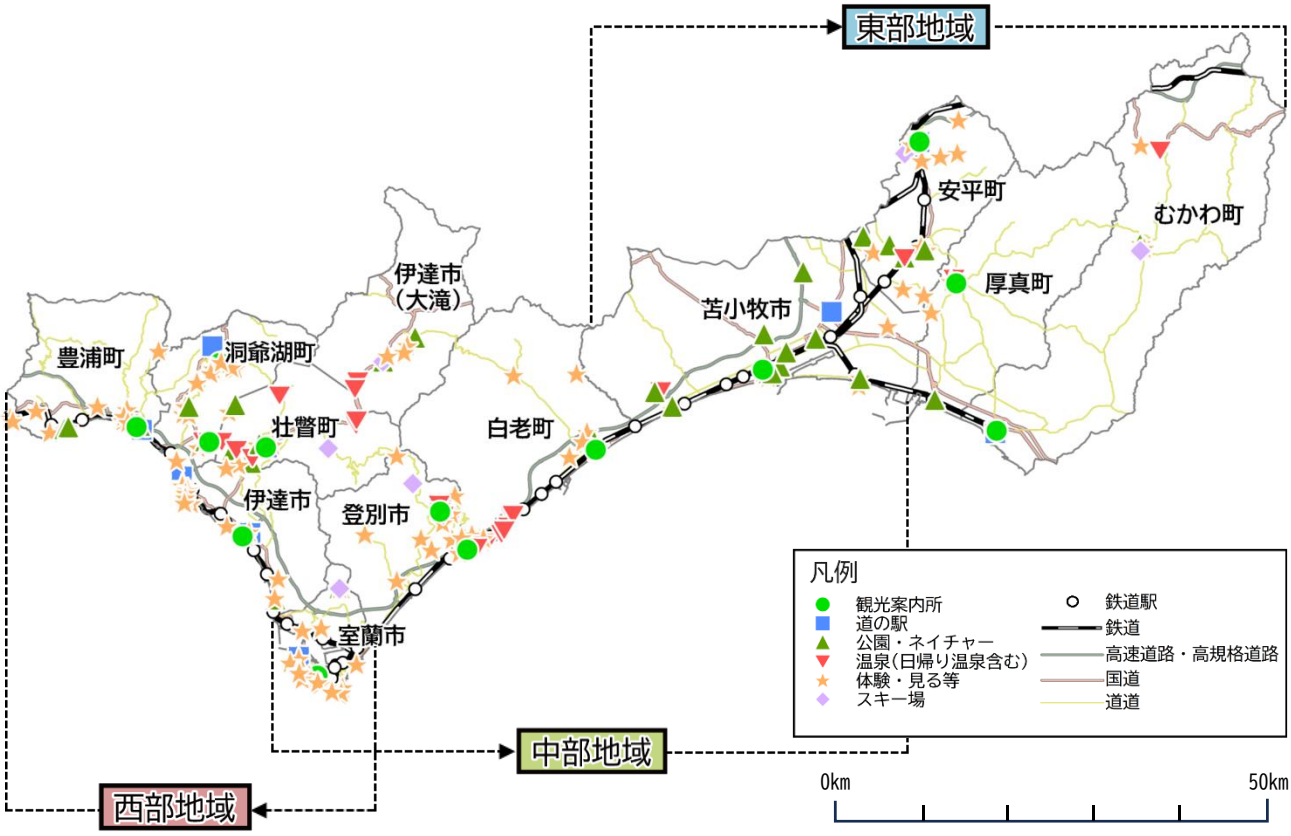
※　平成 30 年度は新型コロナウイルス感染症拡大前の数値

出典：観光入込客数調査報告書（平成 30 年度及び令和 4 年度）_北海道

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kkd/irikomi.html

（3）-2）主要な観光地・観光施設

本地域の観光施設は、鉄道や国道沿線に限らず、地域全体に広く分布しています。



出典：国土数値情報「行政区域データ」_国土交通省

https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/ksj.html

各市町、各市町観光協会・観光コンベンション協会 HP をもとに作成

（室蘭市：http://muro-kanko.com/kyoukai.html）、（苫小牧市：http://www.tomakomai-kanko.jp/）、

（登別市：https://noboribetsu-spa.jp/）、（伊達市：https://date-kanko.jp/）、（豊浦町：https://www.toyoura.net/）、

（壮瞥町：https://sobetsu-kanko.com/）、（白老町：https://shiraoi.net/）、（厚真町：https://atsuma-kankoukyoukai.jp/）、

（洞爺湖町：洞爺湖温泉観光協会（https://www.laketoya.com/）、洞爺まちづくり観光協会（https://www.touyanet.com/））、

（安平町：https://www.abikan.jp/）、（むかわ町：http://www.town.mukawa.lg.jp/1007.htm）

図 3-22　本地域の観光地・観光施設

表 3-8　本地域の観光地・観光施設

（施設数単位：施設）

地区名	市町名	観光施設種別					
		観光案内所	道の駅	公園・ネイチャー	温泉	体験・見る等	スキー場
西部地域	豊浦町	1	1	4	1	11	0
	洞爺湖町	2	2	3	8	21	0
	壮瞥町	1	1	5	7	10	1
	伊達市	1	1	1	0	19	1
	室蘭市	1	1	1	0	19	1
中部地域	登別市	3	0	1	7	29	1
	白老町	1	0	1	8	11	0
	苫小牧市	1	1	11	1	5	0
東部地域	安平町	1	1	7	1	7	1
	厚真町	1	0	1	1	2	0
	むかわ町	1	1	1	2	4	1
西部地域合計		6	6	14	16	80	3
中部地域合計		6	2	14	16	64	2
東部地域合計		4	3	20	5	18	2
胆振地域合計		14	9	36	36	138	6

出典：各市町、各市町観光協会・観光コンベンション協会 HP

（室蘭市：http://muro-kanko.com/kyoukai.html）、（苫小牧市：http://www.tomakomai-kanko.jp/）、

（登別市：https://noboribetsu-spa.jp/）、（伊達市：https://date-kanko.jp/）、（豊浦町：https://www.toyoura.net/）、

（壮瞥町：https://sobetsu-kanko.com/）、（白老町：https://shiraoi.net/）、（厚真町：https://atsuma-kankoukyoukai.jp/）、

（洞爺湖町：洞爺湖温泉観光協会（https://www.laketoya.com/）、洞爺まちづくり観光協会（https://www.touyanet.com/））、

（安平町：https://www.abikan.jp/）、（むかわ町：http://www.town.mukawa.lg.jp/1007.htm）